

クルクルごみ減量通信 第1号

～ごみの排出と分別の現在とこれから～

家庭から出るごみの量は、1人1日当たり490g(令和3年度)と、市のごみ処理基本計画で定める目標(令和5年度:428g)を達成するためには、約15%の減量が必要です。また、燃えるごみ袋の内容を調査したところ、資源化できるごみの混入率は24%と、目標(令和5年度:23.1%)は達成していません。資源ごみのさらなる分別を図り、ごみ処理施設で処分するごみをできるだけ減らしていかなければなりません。

そこで、環境課から月に1回、ごみの減量及び資源化に関する情報を市民の皆さんに発信していきます。第1号となる今回は、夏場に排出量が増加するペットボトルの分別方法についてご紹介します。

今月の特集

「ペットボトルの分別方法について！」

<ペットボトルの出し方>

① **キャップと帯ラベル**をはずす

② **水で洗う**

(キャップ、ラベルはプラスチックごみとして捨てる)



③ **足でつぶす**

④ **回収箱へ**



<回収箱設置場所>

- ・地域の集会所
- ・各公民館
- ・ふれあい会館(一部)
- ・市役所
- ・リサイクルひろばクルクル
- ・保健福祉センター
- ・スカイワードあさひ
- ・東部市民センター
- ・新池交流館ふらっと
- ・大型のスーパー

<注意ポイント>

・**ペットボトルは、可燃ごみやプラスチック製容器包装資源ごみなどの通常の収集では回収できませんので、出さないでください。上記回収箱設置場所に出すようにしてください。いつでも出せるようになっています。**

・**キャップや帯ラベルはプラスチック製容器包装資源ごみで出してください。**